



いずみさの

No.199
2026.5.1

市議会だより



New Topics

施政方針に対する質問を行いました

令和8年度予算を可決しました

目次

- ◆ 議会活動報告..... 2~4
- ◆ 3月定例会の結果報告..... 4~6
- ◆ 施政方針に対する質問..... 7~11
- ◆ ご案内..... 12

本会議・委員会をインターネットで配信しています。

泉佐野市議会

検索



海外友好都市視察事前研修会

1月14日

1月14日、海外友好提携都市である韓国大邱広域市寿城視察の事前に、安得熙（アン テウッキ）を講師に迎え、韓国語およびマナー等を学ぶため研修会が開かれました。



国際戦略調査研究委員会 海外友好都市視察

1月20日～23日

本市と寿城区は2023年7月に友好提携を締結し様々な分野で交流を続けてきています。国際戦略調査研究委員会の視察先として、昨年引き続き、韓国大邱広域市寿城区に決定し、1月20日から23日の日程で訪問してきました。



1月20日

現地での視察日程と、航空機の出発便の兼ね合いから、視察開始の前日に韓国に渡航し、夕刻に大邱国際空港に到着しました。

チェ・ジンテ副議長さんを含め関係者が出迎えのため、横断幕を用意して歓迎していただきました。

1月21日

午前中に、寿城区長及び寿城区議会をそれぞれ表敬訪問しました。

まず、キム・テグオン寿城区長とお会いし、寿城区での政策などについて意見交換を行いました。

その後、寿城区議会を表敬訪問し、チョ・ギュファ議長・チェ・ジンテ副議長様をはじめ、多数の議員様たちと再会を喜び合いながら、対談することができました。

午後からは、韓国伝統文化体験館を訪問し、韓国の伝統衣装を纏わせていただき、韓国の茶道を体験させていただきました。

その後、寿城女性倶楽部を訪問し、女性が活躍する施策や制度などについて意見交換をさせていただきました。



1月22日

大邱広域市内の飛山洞を視察しました。

飛山洞には、昔ながらのレンガ造りの建物が残っており、再開発の構想に入っている街です。

その後、釜山市へ移動し、釜山外国語大学にて、日本語専攻の学生と意見交換を行いました。韓国の学生の考え方を聞き、大変勉強になりました。

釜山外国語大学の学生との意見交換終了後、甘川文化村を視察しました。「韓国のマチュピチュ」と呼ばれるフォトスポットとして有名な名所で、2009年から街おこしが行われ、現在は約8000人の住民と観光局が共存する地域です。

釜山市の最後の視察行程として、釜山港を視察しました。開発が進んでおり、周辺には超高層マンションが建立していました。

1月22日

青年フェスティバル委員会の大学生と意見交換を行いました。

日本への憧れなどを話していただき、親日感情を肌で感じる事が出来、大変有意義な意見交換となりました。



熊本市 医療法人聖粒会 慈恵病院 視察前事前研修会

1月27日

医療法人聖粒会 慈恵病院を視察する前に、現代社会における子ども虐待の死亡事例や匿名で赤ちゃんを預かる事、匿名で出産を行う事の概要と実績、法的根拠と行政の役割、行政主導型で行う上で重要な法的根拠に基づいた運用面における諸課題に関する知識の共有を行いました。



熊本市 医療法人聖粒会 慈恵病院 視察・熊本市議会 意見交換会

2月9日・10日、2月16日・17日

泉佐野市と地方独立行政法人 りんくう総合医療センターが全国初となる行政主導型で導入・実施に向けて準備を進める「赤ちゃんいのちのバトン」（匿名で赤ちゃんを預かる施設）と「内密出産」（特定の人にだけ身元を明らかにして行う出産）に関する先行事例を、民意を代弁する議決機関として調査し、課題抽出を行う為、初となる議会全体としての視察を、議会BCPの観点から2班に分けて実施いたしました。



全国初となる2007年に「こうのとりのゆりかご」、2021年に「内密出産」を導入・実施している熊本市に所在する医療法人 聖粒会 慈恵病院（以下 慈恵病院）に視察を受け入れていただくとともに、子どもの命と権利を守る所管庁として慈恵病院と連携する熊本市の熊本市議会にも意見交換の機会を頂戴いたしました。それらの制度概要、実施の経緯、官民連携の実態、現状と未来の課題について、2日間に分けて座学、視察、体験、意見交換等を通して、しっかりと学ばせていただきました。



出産後、満身創痍の疲弊した状態で熊本の地まで駆け込んでくる妊婦に、安易に子どもを預けようとしている方はおらず、赤ちゃんを預けた後に泣き崩れている。孤立妊娠女性は、劣悪な生育環境や家庭環境、軽度の知的障害等を抱えた方々ほとんどである。この成熟した社会において、未来の希望である子ども達、彼らを出産する女性達が悲惨な状況に置かれ、苦渋の決断をせざるを得ない社会の大きな課題に、私たち泉佐野市議会も向き合っています。



報告書については
こちらをご覧ください



1月27日、「議会による行政評価」を内容とする、黒部市議会の議会運営委員会委員8名の行政視察の受け入れを行いました。

大和屋議長と行財政委員会副委員長の中藤議員が説明員として出席し、泉佐野市議会における行政評価の実施に至る経緯や目的、評価方法等の説明をしました。活発な意見交換が行われ、有意義な行政視察となりました。

3月定例会を開催

議案第4号
議案第17号

総務産業委員会

可決
全会一致

議案第4号 外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例制定について

海外の自治体などに職員を派遣するための法的な根拠と処遇を定めるもので、期間や給与についての規定を定めるものです。委員より、今後予定されている派遣はあるのか、という質問に対し、令和8年度にブラジルへの派遣を予定していると答弁がありました。

本議案について全会一致で可決されました。

議案第17号 令和7年度泉佐野市一般会計補正予算

補正予算の一部をご紹介します。交通安全教育事業 480万円

高齢者の運転による交通事故の防止を目的として、運転免許証の自主返納を促進するため、高齢者の自主返納者に対して、さのぼ10万円分を付与する事業の追加補正予算です。当初予算は310件分でしたが、これを上回る358件の申請があり、抽選に漏れた48名に対して、さのぼ10万円分を付与するものです。

委員より、いつもオーバーしているので、予算を増やしておくことはできないか、という質問がありました。毎年100件の予算としたところ、今年度は3倍超に増やしていたがそれ以上に申請が多かったという答弁がありました。本議案について全会一致で可決されました。

議案第11号
議案第15号
議案第17号

厚生文教委員会

可決
全会一致

議案第11号 地方独立行政法人りんくう総合医療センターの第4期中期計画の認可について

前文では、「第3期における課題などを示し、第4期中期目標においては、経営の効率化と併せて、「公立病院経営強化ガイドライン」が示す新たな課題への取り組みを推進する事が明記されました。目標達成のために本計画は総務省が定めた「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づく公立病院経営強化プランを兼ねるものとして、策定したことを記載しています。「その他業務運営に関する重要事項」について「望まない妊娠をした女性とそのこどもへの支援」では、法人のその他の業務に支障をきたすことがないよう、組織体制の構築、施設の改修などの環境整備を行い、事業の実施にあたっては市のほか関係部局と情報を共有、連携しながら取組を進めていくと記載されています。

議案第15号 泉佐野市立幼保連携型認定こども園条例の一部を改正する条例制定について

乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）これは生後6か月から満3歳未満で保育所等に通ってないこども対象に、保護者の就労要件を問わず、時間単位で柔軟に利用できる新たな制度を実施する条例制定です。

議案第17号 令和7年度泉佐野市一般会計補正予算（第12号）

介護保険事業特別会計の、保険給付（居宅介護サービス）事業及び介護予防・生活支援サービス事業において、介護給付費等が増加する見込みとなり、その負担分を介護保険事業特別会計に繰り出すもの。泉佐野市内に住民票のある18歳までのこどもが医療費機関等を受診した際の一部を助成するもの等を計上。全ての議案は、全会一致で可決されました。

当初予算の特徴

令和8年度当初予算の特徴としては、市税収入等が増加する一方、物価高対策をはじめとして、ハード・ソフト両面で大阪・関西万博のレガシーを活用した事業を実施するほか、賃金上昇の影響や扶助費の増加などにより、当初予算では5年連続過去最高になっており、各分野で基金活用による事業推進が図られます。投資的経費では、継続事業や防災等の緊急性の高い事業として、小学校給食自校方式の整備、泉佐野土丸線・新家田尻線の整備、泉佐野丘陵東地区土地区画の造成、児童発達支援センターの移転整備などが計上されています。

また、引き続き物価高対策のほか「生活支援等」として、家庭用水道料金の減免、さのぼポイント30%還元キャンペーンによる消費喚起を講じ、「活力・賑わい」として、泉佐野 EXPO事業のイベント開催や新たな移住・定住促進事業なども盛り込まれています。

当初予算の規模

- 一般会計 861億179万3千円 (83億52万6千円 昨年度比10.7% 増)
 - 特別会計 269億8,861万8千円 (15億3,887万2千円 6.0% 増)
 - 事業会計 137億8,896万円 (6,363万3千円 0.5% 増)
- 合計 1,268億7,937万1千円 (99億303万1千円 8.5% 増)



議決結果一覧表

全会一致で可決された案件

議案番号	案 件
議案第1号	地方独立行政法人泉佐野市行政事務サービスセンターの令和8年度年度目標の策定について
議案第2号	旧慣による公有財産の使用権の廃止について
議案第3号	泉佐野市行政手続条例の一部を改正する条例制定について
議案第5号	職員の特殊勤務手当についての条例制定について
議案第6号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償についての条例の一部を改正する条例制定について
議案第7号	職員の給与についての条例の一部を改正する条例制定について
議案第8号	職員の退職手当についての条例の一部を改正する条例制定について
議案第9号	住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について
議案第10号	泉佐野市地球温暖化対策施設設置条例制定について
議案第12号	泉佐野市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
議案第13号	泉佐野市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について
議案第14号	泉佐野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第16号	泉佐野市立歴史館いずみさのの指定管理者の指定について

議案番号	案 件
議案第18号	令和7年度泉佐野市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
議案第19号	令和7年度泉佐野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)
議案第20号	令和8年度泉佐野市一般会計予算
議案第21号	令和8年度泉佐野市国民健康保険事業特別会計予算
議案第22号	令和8年度泉佐野市公共用地先行取得事業特別会計予算
議案第23号	令和8年度泉佐野市介護保険事業特別会計予算
議案第24号	令和8年度泉佐野市後期高齢者医療事業特別会計予算
議案第25号	令和8年度泉佐野市病院事業債管理特別会計予算
議案第26号	令和8年度泉佐野市りんくう公園事業特別会計予算
議案第27号	令和8年度泉佐野市水道事業会計予算
議案第28号	令和8年度泉佐野市下水道事業会計予算
議案第29号	旧慣による公有財産の使用権の廃止について
議案第30号	財産の処分について
議案第31号	泉佐野市職員等の旅費についての条例の一部を改正する条例制定について
議案第32号	泉佐野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第33号	令和7年度泉佐野市一般会計補正予算(第13号)
議案第34号	令和8年度泉佐野市一般会計補正予算(第1号)
議案第35号	教育委員会教育長任命についての同意を求めることについて 山田 泰寛 氏を任命することに同意しました。
議案第36号	教育委員会委員任命についての同意を求めることについて 奥 真弥 氏を任命することに同意しました。
議案第37号	固定資産評価審査委員会委員選任についての同意を求めることについて 柿本 香 氏、糊 智至 氏を選任することに同意しました。

表決が分かれた案件

議案番号	案 件	結果
議員発議第1号	米国・イスラエルによる対イラン武力行使の中止を求める意見書の提出について	可決

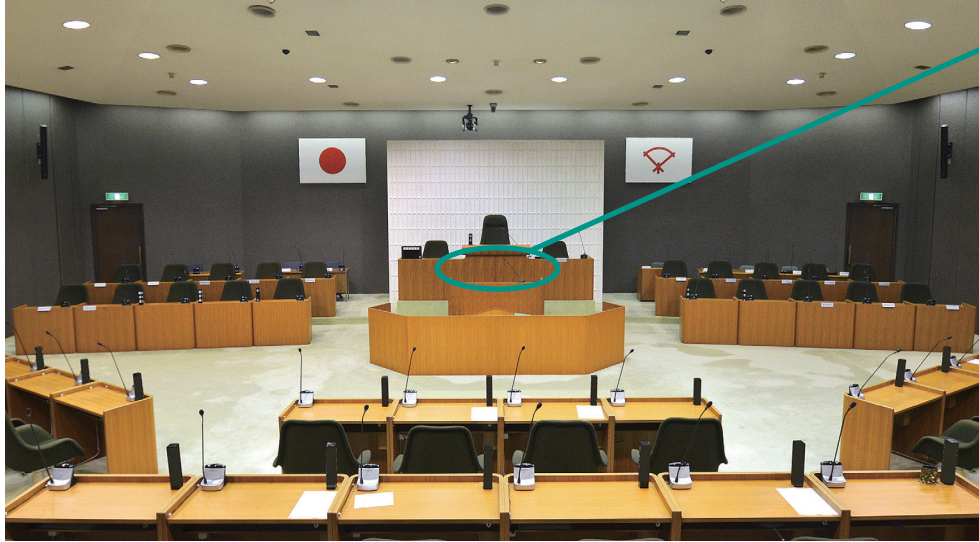
議案の賛否 表決が分かれた案件の賛否一覧です

議員名 議案名	新緑未来		正道の会	チーム泉佐野創生			大阪維新の会			再生市民の会	自民党		公明党			
	中藤大助	布田拓也	中村慎作	向江英雄	大和屋貴彦 議長	野口新一	新田輝彦	射手矢真之 副議長	峰浦修平	中庄谷栄孝	西野辰也	高橋圭子	岡田昌司	辻中隆	大庭聖一	松村正秀
議員発議第1号	○	○	○	○	—	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○

議長は賛否同数のときのみ表決し、議案の可否を決定します。 ○：賛成、×：反対

施政方針に対する質問

市長が行う「施政方針演説」に対して質問をします。泉佐野市議会では、議員一人あたりの質問時間は答弁を含めて40分で、会派を代表して行う代表質問は所属議員の人数分の時間を使うことができます（ただし、個人質問を行った所属議員の分は除く）。



「演壇」
この場所で質問を行います。



← 議会中継の
QRコード

施政方針に対する質問に関するページの原稿は、本会議での発言を要約し、掲載しています。
質問の全内容は、泉佐野市議会ホームページの「ライブ中継・録画配信」または、「会議録検索」（6月末日配信予定）をご覧ください。

また、申請の制限は、市民個人又は他の地域は上限6万円としています。また、申請の制限は、市民個人又は

Q 市民が関空を利用し海外渡航した費用を助成することについて、事業内容、申請方法、助成金額を伺う。

国際化について

A 本事業の申請資格は、本市の住民基本台帳に登録されている日本国籍を有する者など3つの要件をいずれも満たす者であり、電子申請による申請方法などがあります。助成金額は、海外渡航1回あたり、渡航者1名につき、渡航先がアジア・中東・オセアニア地域は上限3万円（当該地域で乗り継ぎした場合を含む）、その他の地域は上限6万円としています。

Q シグネチャーパビリオンの「いのちのあかし」館の移設先と活用方法について伺う。

大阪・関西万博のレガシーについて

大阪維新の会
泉佐野市会議員団 代表
峰浦 修平 議員



・大阪・関西万博のレガシーについて
・観光について
・国際化について
・地域共助・地域コミュニティについて

市民のグループで、グループの場合は最大4名までとし、渡航者1名につき年度内3回までの申請としていきます。



地域共助・地域コミュニティについて

Q 令和8年度から市が一括管理を行う防犯灯について、その管理方法を伺う。

A 市が主体となりつつも、実際の業務運用は専門的なノウハウを持つ民間企業への委託を予定しており、受託企業で専用のコールセンターを設置する予定です。修理については、コールセンターから地元の電気工事業者へ迅速に依頼を繋ぐ仕組みとしています。

Q 新たに防犯灯を設置してほしい場合の対応について伺う。

A 令和8年度から新設される住民生活課が中心となって、受付、調整、設置の可否を判断します。

道路・交通について

Q 現在検討中のコミュニティバスの新たなルートについて伺う。

- ・地域福祉について
- ・健康・医療について
- ・道路・交通について
- ・住宅について

A 新たに設置するルートは検討中ですが、既存ルートのバス停ごとの乗車人数などの利用状況の分析などを行い、より効率的で利用者の満足度が高いコミュニティバスとなるようルート設定を行いたいと考えております。



住宅について

Q 下瓦屋団地住宅の建替え計画について、佐野台地区での新たな市営住宅の整備について伺う。

A 下瓦屋団地住宅3棟は、令和9年度に解体工事を施行し、同年度中から新住棟の建設工事を開始して、令和11年春に仮移転していただく入居者の方に新住棟に入居していただく予定です。また、大阪府営泉佐野野台住宅の建替事業による余剰地の一部を購入し、市営住宅を整備するもので、令和8年度から建設用地購入及び基本・実施設計業務委託を施行し、令和11年秋頃完成予定です。

自由民主党

泉佐野市議会議員団 代表

西野 辰也 議員



津波避難タワー設置に向けた基本構想策定について

Q 以前に津波避難タワー設置に向けた必要性について質問をしましたが、今回設置に向けた基本構想が策定される事になりましたが、基本構想策定内容などお示しく下さい。

A 府道堺阪南線及び泉佐野岩出線より海側の区域にあり、所有者の合意をいただいた10件の高層建築物を津波避難ビルに指定させていただき、津波時の一時避難場所の確保に努めております。しかし、浸水想定区域の周辺に津波避難ビルに指定することができると高層建築物がない場合や、避難の際に支援が必要な方が多く集まる場所には、緊急避難場所が必要となることも考えられるため、対象者や地域性を考慮したうえで緊急避難場所としての津波避難タワー設置に向けた基本構想を策定してまいります。



「56のあかこ」館について

- ・観光について
- ・産業について
- ・地域共助・地域コミュニティについて
- ・消防・防災について
- ・生活安全について

町会館・自治会館の大規模改修補正制度について

Q 市からの「泉佐野市町会館等施設整備事業費補助金交付要綱」に基づき町会館等の新築や改修など費用について支援を実施して頂いていますが、国の補助メニュー「住宅・建築物安全ストック形成事業」との兼用利用はできますか。

A 「住宅・建築物安全ストック形成事業」とは、地震時における建築物の倒壊等を軽減し、市民の安全を確保することを目的として、耐震化等を国が支援する交付金です。この交付金と本市の補助制度を兼用するには、まずその施設が単なる地域の集会場に留まらず、市から「指定避難所」としての指定を受け、地域の防災拠点としての役割を担っていただくことが大前提となります。重要な役割を担う施設である町会館等の整備については、今後とも国などの制度も注視しながら地域住民の皆様と協働して進めてまいります。



公明党

泉佐野市議会議員団 代表

岡田 昌広 議員



タオル産業の販路拡大について

Q 今治タオルとの差別化をはかり、泉州地域を代表するブランドである泉州タオルの販路拡大に向けた具体的なプロモーション戦略について伺う。

A 本市が「特産品相互取扱協定」を締結している全国の自治体開催するイベントに積極的に参加し、令和7年は約50の自治体において泉州タオルのプロモーションと販売を実施しました。また、「水とともに生きる泉州タオル」という新ブランドが立ち上がっており、泉州タオルの起源である浴用タオルを、「温泉」と「泉州」を掛け合わせた「温泉州タオル」として展開しております。本市としては、泉州タオルが持つ「後ざらし製法」による確かな品質という強みを最大限に生かしつつ、ブランド化の強化、販路の多角化、海外展開の推進など多面的な支援を行うことで泉州タオル産業の持続的な発展に努めてまいります。



- ・観光に力を入れる
- ・国際化に力を入れる
- ・産業に力を入れる
- ・雇用・労働に力を入れる
- ・NPO・子育てに力を入れる

- ・学校教育に力を入れる
- ・地域共助・地域コミュニティに力を入れる
- ・廃棄物処理に力を入れる
- ・挑戦的な自治体経営に力を入れる

「(仮称)赤ちゃんのゆりかご」及び「内密出産」導入について

Q 地方独立行政法人りんくう総合医療センターや関係機関と調整しながら、導入に向けて進めているが、その進捗状況について問う。

また、その受入及び相談体制、妊婦保護室の設置、スタッフ人員の体制等について問う。

A 導入については、当該センターと共同でワーキンググループを組織し、施設設計、受入フロー、課題の検討など事業実施に向けて協議しています。また、内密出産に係る国発出のガイドラインを踏襲し受入・相談体制を整備してまいります。また妊婦保護室を当該センターに設置する場合、建築基準法等の法令の規定など困難な課題がありますが、引き続き検討を重ねるとともに、女性に寄り添った支援ができるよう、保健師や社会福祉士等の資格を持つ人員の確保に努め、国や府、関係機関と調整を進めてまいります。



学校給食について

Q 本年度より、国の方針により全国の小学校において給食費の無償化が実施されるが、不登校児童生徒への給食費補助について市の見解を問う。

A 各学校では、不登校児童生徒分も含め、全員分の食材の確保や調理体制を整えて給食を用意しています。仮に不登校児童生徒への給食費補助とした場合、二重の公費支給となるため、給食を停止させていただくこととなります。そうした場合は、復帰への心理的不安や登校への意欲低下等につながるものと考えられます。現状としましては、教育的な観点からも慎重な判断が必要と考え、給食費補助をする考えではありませんが、今後も子どもファーストの応援ができるよう幅広く検討してまいります。



新緑未来 代表
中藤 大助 議員



生活安全について

(1) 道路交通法の改正について

Q 令和8年4月1日からの道路交通法改正に伴い、市民への定期的な周知方法はどのように行うのか。また、改正に基づいた道路整備は検討しているのかお答え下さい。

A 今回の改正については、自転車の運転者にとって影響が非常に大きいことから事前周知が必要であると考え、これまでに市のホームページや広報誌で周知を行ってきた。また、警察と連携し、小学校等での交通安全教室を行ってきましたが、来年度以降は今回の改正を踏まえた内容で実施したいと考えております。

今後新たに整備される道路につきましては、歩行者や自転車の通行空間も確保した道路整備に努めるとともに、既存の道路については路面標識や道路反射鏡、電柱の啓発用巻き看板の設置など実行可能な対策を行ってまいります。



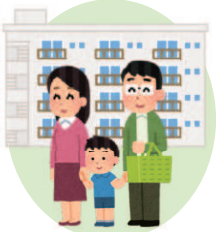
住宅について

(1) 市営住宅整備について

Q 「(仮称)市営佐野台団地住宅」を建設するにあたり、新たに同居する子育て世帯や若者世帯がスムーズに地域のコミュニティに溶け込みやすくするためにどのような方策を考えているのかお答えください。

A 今回新たに整備する住宅は、人口減少対策及び定住促進施策の一環として、子育て世帯などの若年世帯の方の同居を中心に考えており、4階建て居住用住戸38戸と集会所の設置を予定しています。

この集会所は、定期的に開放し、入居者だけではなく、地域の方も集えるようなスペースとして考えています。そうすることで、住宅内外に住む同じような世代のみなさんが情報交換の場として活用していただき、地域のコミュニティ促進につながると考えております。



チーム泉佐野創生 代表
向江 英雄 議員



- ・国際化の促進
- ・産業の成長
- ・学校教育の充実

航空運賃助成制度について

Q 市民限定で海外渡航費用の助成を行う事業は、利用者の国際感覚の醸成に寄与し、教育振興、定住・移住促進、企業誘致による経済活性化等にも繋がる事業と大いに評価するところである。この制度導入の経緯、概要を伺う。

A 本制度は、関西国際空港から出国して海外渡航した市民に対し、その費用を一部助成するものです。国際化や多文化共生社会の実現には、多くの市民に外国の文化や習慣を知っていただき、異文化理解を深めることが重要であることから、国際相互理解の増進に資する取り組みとして創設するものです。また、本制度は、多様な価値観や国際経験を重視する若い世代において、本市を居住地として選択していただく動機付けとなり、将来のグローバルな人材育成にも繋がるものと考えています。



創業支援について

Q スタートアップ・ベンチャー企業支援によって、イノベーション促進による地域活性化が図られ、経済発展、雇用創出、新たな社会問題を解決する手段としても期待できる。支援の重要性やニーズ、現状の取組み、今後の計画について伺う。

A 本市では、「スタートアップ企業の誘致」と「市内企業とスタートアップ企業との協業」を産業振興の重要な柱と位置づけ、コワーキング機能を備えたイノベーション創出拠点「Sanol・A・B」を開設し、伴走支援を行っております。今後も、関西国際空港を擁する国際都市としての強みなどを最大限に活かし、市域全体を「実証のまち」として、「先端産業の集積地」「技術革新の拠点」としてブランドを確立できるように取り組んでまいります。



GIGAスクール構想第2期における教育DXについて

Q 今構想は「1人1台端末」+「高速ネットワーク」+「安全なクラウド活用」によって、個別最適・協働的な学びを一体的に充実させる事等を目指すものであるが、ネットワーク整備や教育情報セキュリティ対策等、まだまだ課題が多い。本市学校現場での現状、今後の計画について伺う。

A GIGAスクール構想第2期では、ネットワーク回線増速業務の実施により、環境の改善を図ってまいります。また、導入しています総合型校務支援システムも相当年数が経過することから、次年度にクラウド上で本稼働できる校務系ネットワーク、システムを導入したいと考えています。教育委員会としましては、セキュリティ対策を十分に講じた上で、1人1台端末の積極的な活用と併せて、校務支援システムを活用し、持続可能な環境の整備を行ってまいります。



大庭 聖一 議員

- ・教育の充実
- ・予防接種の充実



教育について

Q タブレット端末を活用した、家庭学習や長期休みなどに毎日の学習習慣をつける利用促進をお願いします。

A 家庭学習のための日常的な端末の持ち帰りに加え、夏休み等の長期休業期間の持ち帰りも市域全体で進んできています。端末の持ち帰りについて、学校だより等で家庭へ周知し、家庭における端末の使用についてご理解、ご協力をお願いしています。

予防接種について

Q HPVワクチンの接種に関する啓発と情報発信を進めて男性接種も推進していただきたい。

A 本市としましては、まずは女子の定期接種率のさらなる向上を図るとともに、男子接種に関する正確かつ分かりやすい情報提供に努め、定期接種導入前の任意接種の費用助成についても、他自治体の助成状況や国の制度設計の動向を踏まえながら検討してまいります。

中庄谷 栄孝 議員

- ・塾代助成事業の拡充と給食無償化について
- ・泉佐野元気塾について
- ・下水道事業について



塾代助成事業について

Q 塾代助成事業を地域のスポーツ活動でも使えないでしょうか。

A 現在の規約の中でも、少年野球、サッカーなどの地域のスポーツ活動の指導団体の方々にも申請いただける内容となっています。

泉佐野元気塾について

Q 元気塾開催時に骨密度や血管年齢測定など出来ませんか。

A 現段階では、元気塾の中で新たに他の取り組みを行うことは考えておりません。他の事業や催しで骨密度測定等を実施していますので、周知や連携等について工夫したいと考えております。

下水道事業について

Q 上瓦屋地区の下水道整備はどの様になっていますか。

A 府道と歌山貝塚線の佐野川から大阪外環状線の区間におきまして、図面や工事費算出に必要な数量計算書等を作成する実施設計業務に着手しており、令和9年より污水管整備を行う予定です。

中村 慎作 議員

- ・栽培漁業センターを軸に、漁獲1.5倍と観光飲食商業ブランド化を津波避難タワー基本構想について
- ・コミュニティバス増設について



栽培漁業センターについて

Q 科学的根拠による水産資源管理を求めてきた。本市の人材育成や観光、飲食業、商業と連動した地域ブランドを生み出す拠点に！

A 栽培漁業センターを水産振興にとどめず、育成体験や施設見学、観光や飲食、商業と連動した地域ブランド形成に繋げることは重要であると考えております。まずは、令和8年度に策定する基本計画の中でセンターの役割や機能、その多様な可能性について整理してまいります。



コミュニティバス増設について

Q 専門的な分析によって、時間短縮・ルート再編や小型バス・福祉送迎との連携の可能性を！

A 再編をする場合は、運行距離の短縮や停留所を選別しなければならず、また小型車両の導入は、定員超過で乗車できない利用者が出る可能性があるので、現在の利用者の利便性が低下することが想定されますので、利用状況を踏まえ慎重に検討してまいります。

意見書・決議

1件の意見書・決議を採択し、関係機関へ送付しました。

米国・イスラエルによる対イラン武力行使の中止を求める意見書の提出について

賛成多数
(送付先)衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣



議員の自動失職について

日根野谷和人議員（元大阪維新の会泉佐野市会議員団）が大坂府議会議員泉佐野市及び泉南郡熊取町補欠選挙に立候補したため、公職選挙法第90条の規定により令和8年2月20日付で市議会議員の職は、自動失職となりました。

議員の自動失職

議員の自動失職とは本人の意思による辞職の手続きをしなくても自動的に議員の身分を失う事です。例をあげてみると

例1.

議員が他の選挙に立候補の届出をし、公職の候補者となった場合、公職選挙法第90条の規定により、その届出の日当該議員の職を辞したものとみなされる。

例2.

地方自治法第127条の規定により、議員が被選挙権を有しない者（住所要件の欠如や刑罰など）であるときは、その職を失う。

などがあります。

また、市議会議員の補欠選挙は、公職選挙法第113条の規定により、欠員の数が定数の6分の1を超えたときに行われます。ただし、欠員が定数の6分の1に達しない場合であっても、市長選挙が行われる場合には、その日程に合わせて補欠選挙が実施されます。

豆知識





こども議会参加募集



泉佐野市議会とは、泉佐野市の税金の使い方や、行政の進め方について質問したり、意見したり、審議をすることで。みらい泉佐野こども議会は、こども議員の皆さんが泉佐野市に対して、普段感じているいろんな想いを提案したり質問したり意見する機会です。

みらい泉佐野こども議会を通じて、皆さんの貴重な意見やアイデアで、泉佐野市の未来を一緒に創りましょう!!わからないことがあっても大丈夫!担当議員がしっかりとサポートします!!

当日はご家族やご友人の方も、是非傍聴にお越しください(手話通訳あり)。



市議会ホームページ



応募フォーム

- 募集人数：5人(組)前後 ※3人以内でのグループ参加も可
- 対象：泉佐野市に在住または泉佐野市内のフリースクール等に通う小学4年生～中学3年生
- 開催日時：令和8年8月2日(日)午前10時～12時15分
- 場所：市役所5階 市議会議場
- 応募方法：フォーム、メール、はがきのいずれかでお申込みください。
応募方法などの詳細は、泉佐野市議会ホームページをご覧ください。
- お問い合わせ：泉佐野市議会事務局 072-429-9358

5月17日(日) 泉佐野市議会議員一般選挙

市議会を傍聴しませんか

◆5月臨時会の日程表◆

5月 25日(月) 本会議

5月 28日(木) 本会議

◆6月定例会の日程表◆

6月 5日(金) 本会議

6月 8日(月) 総務産業委員会

6月 9日(火) 厚生文教委員会

6月 16日(火) りんくう総合医療センター対策委員会

6月 17日(水) 関空りんくうまちづくり特別委員会

6月 18日(木) 行財政委員会

6月 25日(木) 本会議

6月 26日(金) 本会議

6月 29日(月) 本会議

※午前10時開会予定です。ただし、5月28日につきましては、委員会協議会、議員協議会終了後の開会予定です。

なお、日程は変更することがあります。

※手話通訳をご希望の方は、議会事務局までお問い合わせください。

表紙の写真



3月16日、関西エアポート株式会社の代表取締役副社長Co-CEO ブノア・リュロ 氏を講師に迎え、「空港は地域と共に育つ - KIXと泉州地域」をテーマに本市議員研修会が開かれました。

市議会だより編集委員

西野辰也	向江英雄	布田拓也	委員 副委員長 大庭聖一	委員 中庄谷栄孝
------	------	------	--------------------	-------------